

# 衆議院 厚生労働委員会 配布資料

2026年4月21日

日本労働組合総連合会  
副事務局長 林 鉄兵

## 健康保険法等の一部を改正する法律案に対する連合の評価

改正の内容	連合としての評価
標準的な出産費用の無償化に向けた制度の創設	<ul style="list-style-type: none"><li>●希望する人が安全・安心に産み育てられる環境整備に向けて、保険診療以外の分娩対応に要する費用を全国一律の水準で現物給付化し、妊婦の自己負担が生じない仕組みとすることは評価。</li></ul>
医療機関における業務効率化・勤務環境改善への責務明確化	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域における安全・安心な医療提供に向けては、医療従事者の確保に加え、専門性を発揮できる環境づくりが不可欠。その観点から、勤務環境の改善、業務効率化をはかることは評価。</li><li>●ただし、それに伴い人員配置基準を緩和することなく、真に働く者の負担軽減に資する取り組みとなるよう留意が必要。</li></ul>

## 健康保険法等の一部を改正する法律案に対する連合の評価

改正の内容	連合としての評価
薬剤費における一部保険外療養の創設	<ul style="list-style-type: none"><li>●保険外併用療養制度における薬剤費の特別料金に関する新たな仕組みの創設は、患者の負担増につながることから、国民・患者の理解・納得を得られるよう丁寧な審議を求める。</li></ul>
高額療養費制度における長期療養者への考慮明確化	<ul style="list-style-type: none"><li>●高額療養費制度の見直しにあたり、重要なセーフティネット機能を担う本制度の役割に鑑み、家計への影響に配慮することは重要。こうした考え方を法律上明確化すること自体は評価できる。そのうえで、必要な療養の確保に支障が生じないよう丁寧な審議を求める。</li></ul>

## 健康保険法等の一部を改正する法律案に対する連合の評価

改正の内容	連合としての評価
後期高齢者医療制度における金融所得の勘案	<ul style="list-style-type: none"><li>●金融所得の勘案を含め、高齢者の負担のあり方については、年齢別から支払能力に応じた負担となるよう、高齢者医療制度の抜本改革、トータルでの所得捕捉の方策とあわせて検討すべき。</li></ul>
全国健康保険協会（協会けんぽ）への国庫補助にかかる特例減額	<ul style="list-style-type: none"><li>●国庫補助は、財政基盤の安定を目的に実施されていることから、中長期的な安定運営のもとで保険者機能が十分に発揮できるよう、国庫補助率は少なくとも現在の水準を維持すべき。</li></ul>